

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## 国際化・多文化共生の推進力を養う

### 異なる価値観を学ぶ

クレアには東京1年間、シンガポール3年間の計4年間在籍させていただきました。一宮市からクレアへ派遣されたのは私が初めてであり私自身も国際業務の経験がない中での派遣でした。クレアの事業を通してそれぞれの自治体が国際分野で取り組んでいる事業を知り、加えて、さまざまな自治体からクレアへ派遣されている方々と共に仕事をすることで、ゼロから自治体の国際業務を学ぶことができたように思います。

シンガポール事務所で東南アジア各国の仕事に携わった経験も重要なものでした。フィリピン、ベトナムなどいくつかの国へ出張し、各国の自治体、学校、現地日系機関の方々と仕事を共に行う機会がありましたが、特にインドのナグプールへの出張は印象に残っています。JETAA（元JET参加者の会）インドが現地日本語学校と協力して開催したイベントで、日本にあまり馴染みがない地域で日本文化イベントを開催して現地の人々に興味を持ってもらうという企画でした。あまり日本で名前を聞くことがないナグプールですが、人口200万人を超える市で、イベントにも2日間で延べ2,000人ほど



JETAA インド主催の日本文化イベントに参加  
(筆者上段左から3番目)

愛知県一宮市活力創造部観光交流課 清水 健太

の方が集まり、折り紙や着付けなどのブースやカラオケやコスプレなどのステージを楽しんでいました。まさに新しい国際交流を切り開いた事例だったと思います。私自身もインドの皆さんから学び、改めて日本の組織で養ってきた自身の価値観を見直す機会になりました。

### 多文化共生の道を拓く

一宮市ではこの10年間で外国人市民が4,892人（2014年12月31日時点）から8,613人（2024年8月1日時点）へ約1.7倍の増加となりました。市内でもフィリピンやベトナムといったアジア圏出身外国人の姿を見かけることが多くなり、本市の取り組みとしても、国際交流が中心となっていたこれまでの業務から、日本人市民と外国人市民が共に生活する上での摩擦が大きくなるような、多文化共生の取り組みの重要度が高まっています。

私がクレア派遣から一宮市に戻っておよそ1年半が過ぎましたが、この1年半の間だけでもクレアで得た経験に何度も助けられました。フィリピンやベトナムなどへ実際に現地に行って仕事をした経験から、実際に私自身が仕事を通して感じたことを話すことができるため、大きなアドバンテージになっていると感じています。

改めてクレアで共に過ごした皆様と一宮市から支えていただいた皆様に感謝を申し上げたいと思います。今後は現在の職場で得られる新しい知識と経験も加えて、クレアで得た経験を一層昇華し、一宮市に貢献できるよう努めていきたいと思っています。

### プロフィール・ほか

クレア在籍時の所属  
2019年4月～2020年3月 JETプログラム事業部研修・  
カウンセリング課  
2020年4月～2023年3月 シンガポール事務所